

# 「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットワーク通信

あなたとご家族の生命を守る知見を備えましょう

2023(令和5)年3月15日／第61号

向日葵はわが街のシンボル



風早北部地域ふるさと協議会

大規模災害発生後に自宅(在宅)避難の継続を考えましょう:その②

## 食料品・飲料水を心配なく確保するため ご近所付き合いと地域団体に加入を

第57号〔○〕では、より長期間での在宅避難を可能とするための日頃の蓄えについて紹介しました。本号では、食料品や飲料品の支援がある程度備蓄以外の方法で入手できるための方策として、平時のご近所付き合いと地域団体への参加・加盟、あるいは団体からの脱会をお考えの場合は是非懇意を呼び掛けます。○当会ホームページ「<https://kazakita.org>」で「防犯・防災」アイコンをクリック・タップし「防災ネットワーク通信」のアイコンをクリック・タップして、防災ネットワーク通信第57号を閲覧願います。

まずは普段のご近所付き合いの姿勢が大切です。よく「向こう三軒両隣」や「隣保協働」という言葉で表されますが、困ったときに本当に助けになるのはお隣さんです。12年前の東日本大震災では、お隣さんのおかげで津波の襲来から命を救われた東北地方の家庭が多かったことが伝えられています。いざという時に備蓄物のシェアも可能となり得ますので、是非、お隣さんとの付き合いを大切にしましょう。

次に、町会や自治会など地域の活動団体に所属していないことで、そうした団体が実質的運営をする避難所からの物資支援を受けることがかなり難しくなります。地域団体未所属あるいは脱退(会)住民は、「非常」時にあなたのものとへ「非情」が降りかかるこの覚悟が必要です。



もしも、大規模災害発生後に自宅(在宅)避難継続が出来ない場合は…

# どうしても在宅継続が難しいときは マイカー＆マイテント避難 をお勧めします

家屋損壊などで自宅に留まることが難しい場合でも、避難所は狭く、大人数の場所は環境に悪い、感染症拡大が怖いといった不安があります。その対策として有効と私たち風早北部地域ふるさと協議会から訴えるのが、マイカー避難、及びマイテント避難です。**感染症拡大を防ぎ、ペット同伴での移動を可能にすることでも絶対にメリットがあります。**

一昨年より当ふるさと協議会では、柏市危機管理部(防災安全課)に対してマイカー避難を可能とする柏市内の公園等の場所の確保を要望しています。現時点で市からは満足のいく回答はありませんが、市からはこれに代わり得る妙案もなく、現状でこれ以上の対応策は難しいのではないかと思われます。



マイカー避難については、その燃料確保も大切ですので、自家用車をお持ちの市民の皆さんには、常にガソリンを満タンにすることを意識しましょう。詳しくは、「全国石油商業組合連合会」が推奨する「満タン＆灯油プラス1缶運動」の公式サイトをご覧ください。インターネットの「満タン運動」で検索して30秒のPR動画を是非ご覧ください👉

ご存知ですか?  
日常的に災害へ備える方法。

「満タン運動」ってなに?  
過去の災害事例  
「満タン＆灯油プラス1缶」のメリット  
主な活動内容  
70秒でわかる「満タン運動」  
よくあるご質問